

# 千葉大学病院 ニュース

2005年5月

第4号



千葉大学医学部附属病院  
Chiba University Hospital

〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

TEL : 043-222-7171 (代表)

URL <http://www.ho.chiba-u.ac.jp>

# 新病院長挨拶

本院の100年余の歴史のなかで、常に追い求めてきたのは、苦しんでこられた方が笑顔で帰ることのできる医療を提供できることであつたと思います。それはいまでも追い求めているものです。そのような医療を提供するために1000名にも及ばんとする職員が日夜職務の責務を果たすべく働いています。大学病院は多くの病院で行われている医療をすることに加えて、常に新しい医療の開発として、新しい診断法、新しい治療法などを創出していくこと、そして次世代を担う良医、医療従事者を生み出す教育をしていくところであると認識しています。これらは日常のいい診療を心がけていくことと同じことと思っています。このような機能を果たしていくために職員の努力はもちろんですが、来院される方がたにも一緒にこの病院の将来を考えていただけるような暖かいご支援をお願いする次第です。



病院長 齋藤 康

診

療

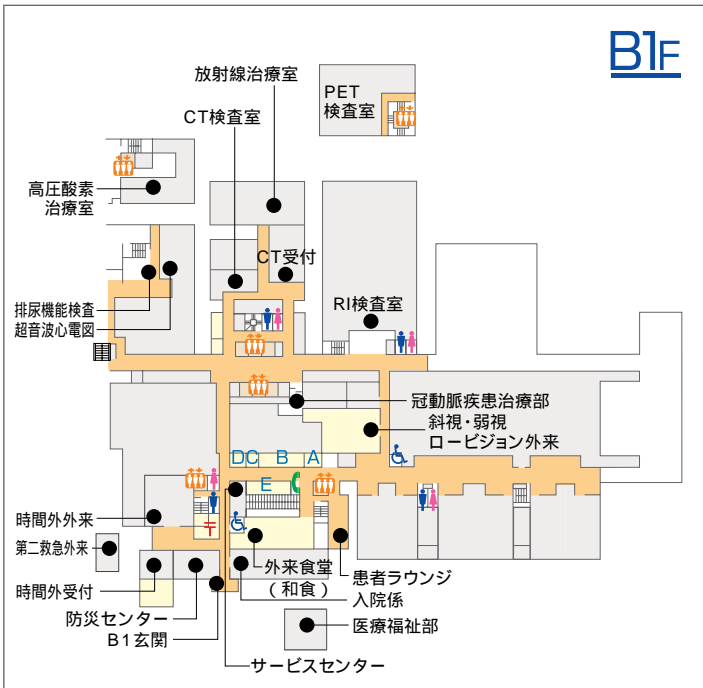
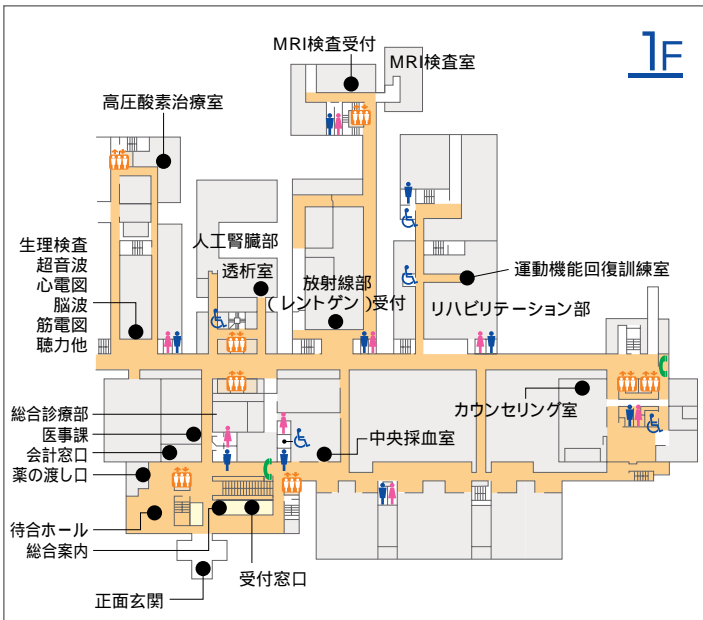
科

一

覧

診療科等名		場所	初診受付日
	消化器内科	1F	月～金
	血液内科	1F	月～金
	腎臓内科	1F	月～金
	アレルギー・膠原病内科	1F	月、火、木
	糖尿病・代謝・内分泌内科	1F	月～金
	循環器内科	1F	月～金
	呼吸器内科	1F	火、木
	心臓血管外科	2F	月、水、金
	食道・胃腸外科	2F	月、火、木
	肝胆膵外科	2F	月、水、金
	乳腺・甲状腺外科	2F	月～金
	呼吸器外科	1F	月、水、金
	麻酔・疼痛・緩和医療科	B1F	月
	腎・泌尿器・男性科	2F	月、火、木
	整形外科	2F	火、木、金
	眼科	1F	月～金
	皮膚科	B1F	月、水、木、金
	耳鼻咽喉・頭頸部外科	2F	月、水、金
	歯科・顎・口腔外科	B1F	月、火、木、金
	形成・美容外科	1F	火、木
	精神神経科	B1F	月～金
	脳神経外科	2F	月、水、金
	神経内科	1F	月～金
	婦人科	B1F	月、水、金
	周産期母性科	B1F	月、水、金
	小児科	1F	月～金
	小児外科	1F	月、火、木
	放射線科	B1F	月～金
	総合診療部	1F	月～金
	光学医療診療部	2F	火、木
	こどものこころ診療部	B1F	水
	感染症管理治療部	1F	月～金

- ・初診受付時間は、原則として午前8：30～10：30です。詳細は、総合案内(内線6087)もしくは各診療科の外来窓口にお尋ねください。
- ・紹介状をお持ちでない初診の患者様は、特定療養費(2,625円)を頂きます。



## 記号のご案内



男子トイレ



車椅子対応トイレ



エレベーター



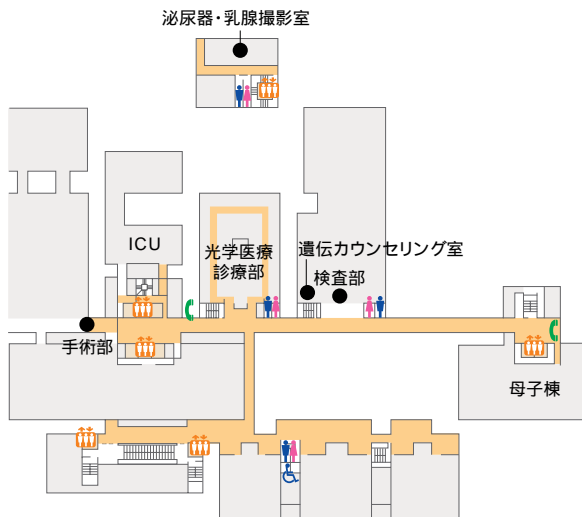
女子トイレ



公衆電話



エスカレーター



- |   |                 |                  |   |
|---|-----------------|------------------|---|
|  階 段 | <b>B</b> クリーニング | <b>D</b> 売 店     |  患者様通路 |
| <b>A</b> 銀 行  | <b>C</b> 花 屋    | <b>E</b> コインロッカー |  郵便局   |

# トピックス

## ご迷惑をおかけします

### －外来診療棟の改修工事について－

現在の外来診療棟における給排水管、冷暖房配管等の改修を目的とした工事が、平成17年7月より平成18年3月まで行われます。

本工事は、診療棟を縦に3分割（3工事区分）にして施工し、工事期間中における外来診療は仮設診察室にて行うことになり、患者の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしく申し上げます。

なお、工事区分別の各診療科名は下記のとおりとなりますのでご確認ください。（注：歯科・顎・口腔外科は工事期間中も現外来診察室を使用します。）

#### 第1工区（工事期間：平成17年7月～9月）

循環器内科 呼吸器内科 呼吸器外科  
麻酔・疼痛・緩和医療科 腎・泌尿器・男性科  
耳鼻咽喉・頭頸部外科 精神神経科  
感染症管理治療部

#### 第2工区（工事期間：平成17年10月～12月）

消化器内科 血液内科 腎臓内科 アレルギー・  
膠原病内科 糖尿病・代謝・内分泌内科  
心臓血管外科 食道・胃腸外科 肝胆膵外科  
乳腺・甲状腺外科 皮膚科

#### 第3工区（工事期間：平成18年1月～3月）

整形外科 眼科 脳神経外科 神経内科  
婦人科 周産期母性科 放射線科

## 高度先進医療のご案内

高度先進医療とは、保険適用の対象とならない先端的な医療について一般の保険診療との調整を図り、先端的な医療を受けやすくする制度をいいます。通常の治療と共通する部分（診察・検査・投薬・入院料等）については保険適用となりますが、高度先進医療にかかる費用が特別料金として自費負担になります。

平成17年2月現在、承認された高度先進医療は104種類あり、そのいずれかを取り扱っている病院（特定承認保険医療機関）は107施設あります。

高度先進医療を行う病院は、高度な技術を持つ医療スタッフの確保、質・量とも十分な施設・設備を有するなど一定の条件を満たしていなければならないため、そのほとんどが大学病院です。

本院では、次の6つの医療を実施しております。

- 重症肥満の外科治療法：1回163,400円（食道・胃腸外科）
- 固形腫瘍のDNA診断：1回66,000円（耳鼻咽喉・頭頸部外科，歯科・顎・口腔外科，検査部）
- 焦点式高エネルギー超音波療法：37,200円（腎・泌尿器・男性科）
- 顎顔面補綴：90,000円（耳鼻咽喉・頭頸部外科，歯科・顎・口腔外科）
- 顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術：90,000円（整形外科，歯科・顎・口腔外科，光学医療診療部）
- 固形腫瘍（神経芽腫）のRNA診断：39,500円（小児外科）

注、（ ）は実施診療科を表します。

この医療を受けるためには、受診中の診療科主治医にご相談の上、実施している診療科の医師から十分な説明を受けられて、同意されることが必要です。

医療に関するお問い合わせは実施診療科、費用に関しては医事課までお問い合わせください。

# 診療科等のご紹介

## 消化器内科 消化器疾患の診断と治療

消化器内科では、肝臓癌、胆道癌（胆嚢癌、胆管癌）、膵臓癌、胃癌、大腸癌など腹部臓器の癌に対する診断と治療を行っております。我が国では、肝臓癌、膵臓癌、大腸癌などの消化器癌に罹患する人が年々増加しており、このような癌を早期に診断し治療することが重要であると考えられています。さらに早期に診断された肝臓癌や胃癌・大腸癌では、開腹手術を行わずに治療することも可能です。

**肝細胞癌：**当科では世界に先駆けて超音波映像下での経皮的エタノール注入療法を行っております。ラジオ波焼灼療法なども組み合わせて治療を行っており、小さな肝細胞癌では外科切除と同等の治療成績が得られています。血管内カテーテルによる治療や、化学療法も行っております。

**胆道癌・膵臓癌：**胆道・膵管内視鏡などによる診断、内視鏡的胆道ドレナージなどによる黄疸の治療、化学療法や放射線療法による集学的治療を行っております。

**消化管腫瘍：**胃・大腸腫瘍の内視鏡的診断と、内視鏡的粘膜切除による早期癌の治療を行っております。

**良性疾患：**ウイルス性肝炎など慢性肝疾患、食道疾患、胃・十二指腸の潰瘍、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患、消化管機能異常などの診断と治療を行っております。胆石や膵石などの結石症では、開腹手術を行わずに、

図1) エタノール注入療法

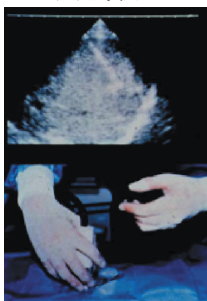
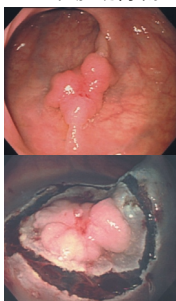


図2) 内視鏡的粘膜切除術



体外衝撃波や内視鏡を用いた治療を行っております。また、肝硬変症に伴う食道・胃静脈瘤に対しては内視鏡治療、カテーテル治療を行っております。



## 整形外科 運動器の機能再建外科

整形外科は運動器の機能再建を行う診療科です。運動器とは骨・関節・筋肉・腱・靭帯などをさします。したがって、整形外科の診療範囲は多岐にわたり、頭頸移行部から下の、内臓器と皮膚を除くほぼすべての領域について診療を行います。主に、脊椎（背骨）・脊髄や四肢・関節の疼痛・機能障害に対して診療を行っています。

当科では、多数の専門外来を設置し、それぞれの部位のエキスパートによる最先端の医療を提供しています。関節疾患では、変形性関節症・関節リウマチ・骨壊死・スポーツ外傷など、すべての関節疾患に対応します。脊椎脊髄疾患では、椎間板ヘルニア、変形性脊椎症はもとより、脊椎脊髄腫瘍などむずかしい疾患にも積極的に取り組んでいます。機能再建が目的であるため、同一疾患であっても年齢、性別、家族構成、職業、趣味などにより、即ち、患者さんの生活そのものによって治療目標・治療方法は異なってきます。どういう治療がその患者さんの生活の質を向上させるかということを常に念頭に置きながら、きめの細かい医療を行うことを心懸けております。

骨の形態などは患者さんひとりひとりが異なる形をしています。治療のむずかしい患者さんの場合は、画像検査情報から三次元画像を再構築し、テーラーメイドの人工関節を作ったり、再構築模型を使って事前にシミュレーション手術を行うなどして、治療成績の向上に努めています。

整形外科では、患者さんそれぞれに最も適した治療を選択するテーラーメイド医療を実践しております。



図 頸椎三次元実態模型

# 診療科等のご紹介

## 脳神経外科 手術で治る脳・脊髄の病気

脳神経外科というのは、皆様にとって、脳腫瘍・クモ膜下出血・脳梗塞・脳出血・脳挫傷など、大変深刻な病気ばかりを扱っているかのように思われるかもしれませんが、確かに脳や脊髄の機能をあつかうのですが、診断と手術の進歩で、より元気になって社会復帰をされる方が多くなってきています。

今日では、最小限の患者さんの負担で、今までの治療法と同様またはより高い効果の得られる治療法を積極的に導入しています。下垂体部腫瘍の手術では上唇の裏側を3cmくらい切開する術式から、内視鏡を用いて鼻の奥に小さな切開をする術式に変わってきていますし、クモ膜下出血の原因である脳動脈瘤では、頭を切らずに脳の血管の中にカテーテルという管を進めて、動脈瘤の中にコイルをつめてしまうというような血管内手術も行われています。小さな脳腫瘍とくに転移性の場合、頭を切らずにガンマナイフに紹介して放射線で治療すること（これを放射線手術と言います）も行っています。

顔面のけいれんや神経痛などは頭の中で神経が血管に圧迫されて起こることがわかり、手術でよく治る病気となりました。中年以上のお年で最近歩きにくくなったという方のなかには、脊椎の病気や慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症など手術でよく治るものがたくさんあります。どうぞ気軽に脳神経外科を受診してください。

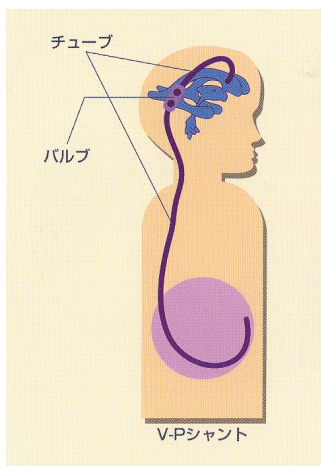


図 水頭症の手術

## 精神神経科 こどものこころ診療部

21世紀は心の時代とも言われ、心豊かに過ごせる社会の実現が理想です。しかし、実際には、経済的不況、IT化などの急激な技術革新、少子化・高齢化社会などなど、現代社会に暮らす我々は数多くのストレスに曝されており、このようなストレスは心や体に不調を引き起こします。例えば、うつ病は10人にひとりが罹る病気と言われており、非常に一般的なもので、多くの方々が知らず知らずのうちに患い、ひとり悩んでしまっている可能性があります。ただ、マスコミでも最近では心の病が取り上げることが多くなり、うつ病、パニック障害、摂食障害、強迫性障害などは広く知られるようになってきており、少しずつ社会の理解を得てきていると思います。

私たち、精神神経科/こどものこころ診療部ではこのような疾患を含めた、様々な心の病の治療を行っております。私たちの理念は「目の前の患者さんに最善の医療を提供し、将来さらに良い医療が提供できるよう努力する」ことです。例えば、心理療法としていち早く認知行動療法をパニック障害や強迫性障害、摂食障害、対人恐怖などに取り入れ、高い治療成果を出してきております。新しい治療薬の治験も積極的に実施しています。また、患者さんのご協力を得て、血液中の微量物質を測定することにより、新しい診断方法や治療法の開発、病気の原因の探索に取り組んでおり、いくつかの発見をしてきております。

「精神科」という名前から受診を敬遠してしまう方が多くいらっしゃいます。心の病は決して特別なものではなく、また心の病では体のバランスを崩すことも多く、単に「悩む」というだけではなく、不眠、食欲低下、易疲労、動悸、過呼吸、体の痛みなど体の変化として現われることがよくあります。このような症状はお薬や心理療法で改善します。躊躇せずに受診してください。快適な生活の基盤は心の健康にあります。

# 薬剤部から

患者さん一人一人に最適な薬物治療のために

病院薬剤師はお薬を取り揃えて情報と共に窓口で提供するだけではなく、様々な業務を行なっています。このコーナーでは病院薬剤師の仕事について理解を深めていただくためにそれらの業務をご紹介します。今回は、特に使い方が難しいお薬を患者さん一人一人に安全かつ有効に使っていただくために行なっている業務をご紹介します。

血液中の薬の量から最適な投与方法を割り出します

治療薬物血中濃度モニタリング（TDM）という言葉聞いたことがありますか？ 昔から薬は、匙（さじ）加減と言われるように、同じお薬を同じ量服用しても、人によって効果や副作用の出方が異なることがあります。この原因として、同じ量のお薬を服用しても血液中の薬の濃度が人によって違ってくるためであることが、近年、多くの薬でわかってきました。

TDMとは、血液中の薬の濃度を測定して、その値（科学的根拠）に基づいて患者さん一人一人にちょうどよくなるようにお薬の量を調節することで、安全かつ有効な薬物治療には欠かせないものです。対象となるお薬は、有効な量と副作用を引き起こす量が接近しており、匙加減が難しいとされるもので、抗てんかん薬、免疫抑制剤、抗不整脈薬や一部の抗生物質などです。

当院では、患者さん一人一人において異なるこれらお薬の最適な量や服用の間隔を決めるために、薬剤師が薬の血液中の濃度の測定（写真①）や解析（写真②）を行い、医師の処方設計を強力に支援しています。



写真①



写真②

### 女性の尿もれ、あきらめていませんか？

咳やくしゃみをした時、重いものを持った時に尿がもれるといった経験はありませんか？

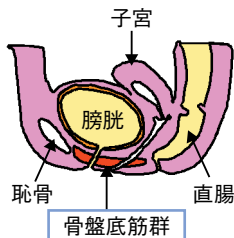
このようにお腹に圧力が加わった時に起こる尿もれを「腹圧性尿失禁」といいます。

### 女性に多い「腹圧性尿失禁」

日本人女性の30歳代以上の3人に1人は尿失禁があり、その多くは腹圧性尿失禁だと言われています。

なぜ、女性に多いのでしょうか？

女性は尿道が短く、膀胱や子宮、直腸を支えている筋肉（骨盤底筋群）がお産や肥満、加齢に伴って弱くなります。また、女性に多い便秘や冷え症も原因になりえます。



### 対処方法

骨盤底筋体操、薬物療法、コラーゲンの注入や手術療法などがあります。

骨盤底筋体操は、弱くなった骨盤底筋群を鍛えます。

楽な姿勢をとります。

お腹には力を入れずに、肛門と膣を5秒間締めます。

緩めてまた5秒間締めます。

この繰り返しを1日に50～100回、毎日続けると効果的です。

また、便秘や肥満を改善することも大切です。

尿を受ける尿吸収パットや専用のショーツがあるのをご存知ですか？ 吸収できる量によって種類がいろいろあります。こまめに取り替えて清潔を保つようにしましょう。

人に相談するのが恥ずかしい...と1人で悩んでいませんか？ これからの生活を楽しく過ごすためにも、どうぞ当院看護師にご相談ください！

尿失禁外来は腎・泌尿器・男性科で行っています。

## 千葉大学医学部附属病院への交通案内



ご来院にはバスが便利です。

### 1. JR千葉駅から

東口正面7番のバス乗り場から「大学病院」または、「南矢作」行きバスに乗車、「大学病院」で下車。

(約10分毎、所要時間約15分)

### 2. JR蘇我駅から

東口2番のバス乗り場から「大学病院」行きバスに乗車、終点「大学病院」で下車。(約15分毎、所要時間約15分)

### 3. 京成電鉄 千葉中央駅からタクシー(所要時間約10分)

## 車でのご来院について

本院は、外来駐車場が狭く、ご来院の皆様には大変ご迷惑をお掛けしております。

ご来院の際は公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。

(当院では本ニュース扉の写真を募集しています。総合案内でお預りします。)